



松陵健児

発行：平成30年9月1日 能代高校東京同窓会 発行責任者：三浦洋 編集：会報誌グループ 題字：山田晃一(第42期) 印刷：株式会社毎栄



平成29年(2017年)の東京同窓会総会・懇親会より。石井喬さん(第46期)の発声で万歳三唱。

平成30年度 能代高校東京同窓会総会のご案内

【日時】平成30年10月6日(土)

□受付 12:00～

□総会 12:20～

□講演会 13:00～

講師 持田訓さん(第39期)

(株)小森コーポレーション代表取締役社長

□懇親会 13:30～16:00

【会場】アルカディア市ヶ谷 3階 富士の間

同窓会活動参加促進事業が始まりました

【年会費】2,000円

【懇親会費】男性7,000円 女性6,000円

*お振込、または当日受付にて受領します。

*従来の特例のほか、参加促進事業により懇親会費無料の期があります(P6参照)。

【出欠】■インターネットをお使いの場合は、東京同窓会ホームページのフォームからお申し込みください。

■同封のはがきの場合は、9月28日(金)までに投函ください。

総会・懇親会の詳細は本誌6ページに掲載しています。

東京同窓会ホームページ <http://shoryokenji.web.fc2.com/>

同窓会への関心を喚起

東京同窓会会長 第45期 三浦 洋

昨年の総会で石井前会長から会長職を引き継ぐことになりました。今後ともよろしくお願いいたします。

私が初めて東京同窓会に参加したのは1999年ですが、同期の袴田邦夫君と協力し、当時としては珍しかった高校同窓会のホームページ(HP)を立ち上げるのが最初の役目でした。翌年5月にHPを立ち上げてから暫くの間は、「掲示板」が東京同窓会の存在と、会の活動状況を同窓生に発信する役目を担ってきました。その後、IT技術の進歩と共にHP以外にも様々な手段を使って同窓会の情報を発信、拡散しながら現在に至っているのはご存じの通りです。

同年発行の会報誌第10号に掲載されている畠顧問(当時会長)の挨拶文には「IT革命」「人間の高齢化、少子化」等のキーワードが並んでいます。HP立ち上げから18年の間に、当会はIT革命の恩恵を受けながら活動を維持してきましたが、少子化は同窓会の会員減少という喫緊の課題となって、目の前に立ちはだかっています。

折しも昨年度、「若手同窓会員を対象とした同窓会活動参加促進事業」による助成金制度を同窓会本部が制定し、利用促進を訴えているところで、以前から当会で運用してきた懇親会費の割引制度と、この助成金制度を合わせて利用してもらうことで、若い世代の参加促進につなげたいのですが、その前に今一度基本に立ち帰り、同窓会に関心を持ってもらうための方策についても幹事会で引き続き検討し、具現化することを目標にまいります。これから10年20年先の東京同窓会がどのような状況になるのか想像できませんが、同窓生あつての同窓会であることは変わりようがないはずです。

今後も会員数の減少傾向は続くと思いますが、幹事一同知恵を絞って、力を合わせて同窓会活動を維持してまいる所存でございますので、どうか同窓生の皆さんも積極的に会に参加していただきますようお願い申し上げます。



新たな挑戦

～ New Will Project ～

能代高等学校校長 第47期 京 久夫

東京同窓会の皆様には常日頃より母校に対して深い愛情と心強いご支援ご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、本校は今年度新たな挑戦に取り組んでおります。

グローバル化、情報化の急速な進展により社会構造が急速かつ大きく変化しているなか、高大接続の一体改革が進められている状況を踏まえ、これまでの「夢と志を育む学校」を目指す Will Project の精神を受け継ぎながら、New Will Project を推進することにしました。

具体的な取組として、昨年度、秋田県教育委員会より「探究活動等実践モデル校事業」の指定を受けたことを契機に、地域課題解決型プロジェクト学習を行っています。1年生はグループ探究やフィールドワークを協働して行うことで、実践的コミュニケーション能力や課題解決能力等の育成を目指します。2年生は個人探究活動とし、探究テーマと進路目標を見据えた実習先を開拓し、全員がインターンシップを行います。この体験を踏まえて個人探究をさらに深化させていきます。

また、「学力の3要素」をバランスよく習得するために、授業時間を45分から50分に改め7時間実施するほか、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組んでいます。

このNew Will Project を推進していくなかで、生徒一人ひとりが夢と志を持って、自己の進路をたくましく切り拓いていくことを期待しています。また、本校はこれからも地域の期待に応え、ふるさとを含め社会を支える人材を育成することを使命とし、「至誠力行」の精神の下、文武両道に励んでまいります。

東京同窓会の皆様には今後もなお一層のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げますとともに、東京同窓会の益々のご発展と、会員の皆様のご活躍を衷心よりご祈念申し上げます。



東京同窓会の皆様へ

能代高校同窓会会長 第40期 森田 新一郎

「松陵健児」へは久しぶりの投稿となりました。東京同窓会の皆様はまさしく能代高校が輩出した人材の宝庫であり、各界、各層でご活躍されているお姿に深く敬意を表しますとともに同窓会活動へのご支援やご協力にも感謝申し上げます。



さて、実は私、この度の選挙で八峰町長に当選し、4月23日から初めての八峰町政を担当しております。66歳で、高齢者と呼ばれる領域に入った新人の無投票というのは、私にとって論理的にあり得ない現象であり想定外の出来事でありましたが、また現役の世界に戻ることであります。

八峰町のような高齢化率が47.5%、女性に限っては51.3%という超高齢社会というのは、第一の人生を定年退職後も地域貢献や社会貢献しながら健康を維持することができれば、私のように、また現場の最前線で頑張ることがありうる社会な

んだということを実感しております。

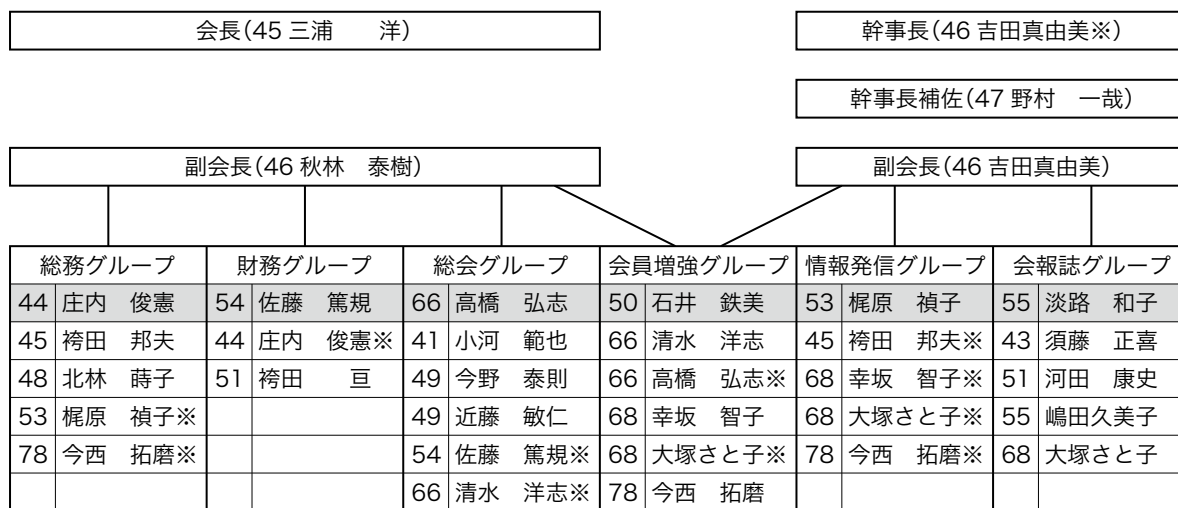
今後の同窓会活動は町長職と兼務になりますので、副会長等役員のご協力をいただきながらの対応になりますが、頑張っていかなければと思っております。

また、平成30年同窓会本部の新年祝賀会は、当番幹事である第47期と第57期の皆様の頑張りにより、久しぶりに100名近い皆様が出席し賑々しく開催できました。恒例の講演では、第47期の藤井昌彦氏から、私たちの関心が高い「認知症」に関わるテーマで、認知症について正しく理解し、正しい予防活動に取り組んでいけば、認知症は恐れることはないというお話をいただきました。

今年の入会式では、男子116名、女子110名の合計226名の皆様を同窓会にお迎えし、私がA型インフルエンザにかかってしまったため、担当の42期清水証氏の司会進行で、39期の山本達行副会長と42期金谷久弥氏が歓迎・激励のあいさつをしました。

結びに予想を。今年の軟式野球は強いぞ。発行する頃には全国Vかも。

平成30(2018)年度 能代高校東京同窓会 組織図(2018/07/01現在)



名誉顧問	19	小林 肇
名誉顧問	26	八柳 昭義
顧問	25	畠 豊彦
顧問	39	菅原 涉
監査役	34	西川 廣正
監査役	46	石井 喬

数字は通算期

■ 網掛けはグループ・リーダー

※は兼任

■その他の幹事

【24期】山縣輝輔 【26期】畠山信孝 【29期】宮腰興紀、石川正順 【30期】熊谷幸夫 【31期】馬場富男 【32期】高谷誠 【35期】干場革治 【37期】若狭秀巳 【38期】豊嶋誠 【39期】大塚進、金野峻明、田村敏雄、諸沢隆一 【40期】小林哲 【45期】大塚雄蔵、真崎裕 【47期】和平忠幸 【49期】片谷浩之、今野泰則、田村盛仁 【53期】吉田順 【56期】部村由美子 【62期】大高忠勉 【67期】小野立、滝田祐作

注1. 2017/12/9開催の幹事会にて承認

注2. 2018/7/17一部を修正

恩 師 に 聞 く

能代は私にとっても原点

荒川 恭嗣 先生

大曲出身で、1974年（昭和49年）4月から1981年（昭和56年）3月まで能代高校に在職された社会科の荒川恭嗣先生にご寄稿いただきました。



●未知の街、能代が初任地だった

昭和49年4月、秋田県の公立高校教員として正式に採用され、皆さんの母校である能代高校に赴任した。正直なところ、能代はそれまで訪ねたこともなく、日本海沿岸の大きな木材都市という印象しかなかった。いざ住んでみると港町らしく、活気のあるエネルギーな街であった。高校生活はもちろん3年間であり、人生でもほんのわずかな時間に過ぎないが、それでも皆さんが自分たちの原点としてそこに回帰するように、私にとっても6年間の勤務はその後の長い教員生活の原点として、拠り所として常に立ち返るべき学校となった。

この度、私の愚息（能代市で生まれた）が勤務する会社の先輩に能代高校OBがおり、その方からの依頼で拙稿をまとめることになった。

●ロシア革命までしか教えられなかった

赴任当時、能代高校は旧校舎である樽子山から高埜地区への移転を控えており、創立50周年を迎えた年でもあったので学校全体が慌ただしかったが、気概があり、何事にも意欲的に取り組む姿があった。当時は男子生徒が圧倒的に多いこともあり、県南の大曲出身の私にはパワフルで圧倒されそうな知性集団であった。

授業は世界史を担当し、第2～3学年のほぼ半数のクラスを受け持った。大学時代に西洋史を専攻したが、大学受験に対応できる進学校での指導の在り方に苦労した。「歴史の先生、見てきたような嘘を言い」と揶揄されることもあるが、人類

が歩んできた道に興味をもってもらいたかった。しかし、「あれかこれか」と濃淡をつけるのではなく「あれもこれも」教えようとして時間がかかりすぎ、第一次世界大戦かロシア革命までで授業が終わってしまったので、生徒諸君をヤキモキさせたであろう。この場を借りてお詫び申し上げたい。

●運動音痴がバスケットを指導

部活動は「バスケットボール部」を担当することになった。身長も低く運動音痴であり、バスケットボールは対岸の存在であったが監督を任せられた。中学時代に全県的に活躍した生徒も多く入部しており、また「バスケットの街」として地域の関心や期待は高く、私も巻き込まれていった。4～5年経ってから「挨拶」や「礼儀」など、例えば宿舎ではスリッパをそろえさせるなど技術指導以外のことに力を入れてみた。口うるさく、うっとうしい存在だったかもしれない。それも功を奏したのか、昭和54年の全県高校総体では、県内の実力校を退けて勝ち上がり、全国一の能代工業高校と決勝戦を戦うことができた。密かに夢みた「市内決戦」である。もちろん「自分たちがやらねば」と選手が奮起した結果である。試合はNHK秋田放送で実況中継された。高松投手を擁しての2年連続の甲子園出場もあり能代が沸き立った年でもあった。

●縁は奇なもの

社会科の教員ということで、赴任した年に能代高校50周年記念誌の「半世紀の歩み」の部分執筆するように命じられた。能代大火もあって資料があまり残っていない中、県立図書館で能代高校開校を要望した「秋田に次ぐ2番目の都市であった能代を文化都市にすべく人材育成のために街全体が一体となって『能代に県立の中学校を』」という大正12年の新聞記事を見つけた。その要望書の代表には能代港町町長の名前があった。私の妻の曾祖父であった。縁は奇なものである。

東京同窓会の皆さんのますますのご健勝とご活躍、皆さんにとっても、そして私にとっても原点である能代高校のご発展をご祈念申し上げ、稿を閉じます。

能 高 生 だ よ り

～部活動を通じて得た素晴らしい経験を胸に、行け！ 松陵健児！ 新たなる目標に向かって！～

【文芸部】 部長 村上 楓佳

【柔道部】 高橋 怜夢

私たち能代高校文芸部は昨年度、全国高等学校文芸コンクールの文芸部誌部門で奨励賞をいただきました。今回の寄稿にあたり、文芸部誌というものと文芸部の意義について紹介していきたいと思います。

「何故君たちはわざわざ文芸部という単位で活動し、部誌を発行するのか」

これは県のコンクールの表彰式で、審査員の先生から問いかけられた言葉です。

文芸部誌部門は、運動部でいうところの団体戦です。部員全員での編集会議を重ね、企画やページ構成、掲載順まで綿密に決めていきます。正直、部誌に費やす時間も手間も決して少なくはありません。それでも私たちは、皆で集まって部誌を作ります。その理由は人の数だけあると思いますが、私は「一人ではないことを確かめたいから」だと考えます。

創作とは自分だけの感性をもって自分だけの言葉を紡ぐ作業です。そこに他人の入り込む余地は無く、作品を生み出す苦しさ押しつぶされそうになることも多々あります。そんなときに一緒に苦しんでくれる仲間が存在。それが私が文芸部で創作を行う一番の理由です。

私たちは今年も部誌を作ります。苦しむときは一緒、それ以上に喜ぶときにも一緒にいたい仲間と、今年も全国の舞台に行けるよう、感性を磨き合っていきたいと思います。



全国高等学校文芸コンクール表彰式の村上さん（写真左）

私は現在能代高校の3年生です。私がこれまで特に力を入れて取り組んできた部活動について紹介したいと思います。

私は中学生の時、最後の全県総体で3位という結果に終わってしまい、柔道をこのまま続けようか迷った時期がありました。そんな時コーチから「まだインターハイがある」と言われ、私はまた新たな目標を持って柔道がんばろうという気持ちになりました。そこで、コーチが能代高校出身ということもあり、本校に入学し、柔道部への入部を決意しました。入部早々は、毎日の過酷な稽古についていくのが精一杯でしたが、部員や家族の支えのおかげでここまで乗り越えてくることができました。

どこの学校よりも稽古をしてきたと自信を持って臨んだ全県総体では、団体戦1勝1敗で予選リーグ敗退という結果に終わってしまいましたが、その悔しさを糧に個人戦では優勝し、目標のインターハイへの出場権を獲得することができました。これは、最高の先生と最高の仲間にも恵まれ、家族の支えがあったおかげだと思います。

今まで柔道に全力を注いできた分、これからは勉強にも力を入れて進路目標を達成させると共に、柔道もこの先さらなる目標に向けて努力していきたいと思います。



文武両道の精神！東北大会入賞時の高橋さん（写真左）

平成30年度 能代高校東京同窓会総会・懇親会のご案内

【日時】平成30年10月6日(土)

受付 12:00～
 総会 12:20～
 講演会 13:00～
 懇親会 13:30～16:00

【年会費】2,000円

*世帯制割引:夫婦そろって同窓生の場合是一世帯2,000円

*新卒者特例(今年は第88期):1,000円

【懇親会費】男性7,000円 女性6,000円

*割引制度や特例があります(下段参照)。

*3階・会場前の受付で会費・懇親会費をお預かりします。

【出欠】回答は必ずお願いします。

インターネットをお使いの場合は、できるだけ東京同窓会ホームページからお申し込みください。

<http://shoryokenji.web.fc2.com/>

同封のはがきは9月28日(金)までに投函ください。

【会場】アルカディア市ヶ谷 3階 富士の間

JR/地下鉄(有楽町線、南北線、都営新宿線)

市ヶ谷駅より徒歩3分

千代田区九段北4-2-25 電話03-3261-9921

<http://www.arcadia-jp.org/>



◆若手対象の参加促進助成金があります

*若手同窓会員を対象とした同窓会活動参加促進事業が始まりました。この制度により、今年は第79期(平成21年3月卒業)から第88期(平成30年3月卒業)までの会員は同窓会本部からの助成金を利用し、懇親会費は無料とします。

*懇親会費無料適用は該当10年間のうち2回までとしますが、それ以降は若者割引が適用できます。

*東京同窓会の年会費は第88期の卒業生は1,000円、それ以外の卒業生は2,000円です。

*参加促進事業については、平成29年12月発行の能代高校同窓会会報『松陵』第29号に掲載され、その文面は東京同窓会ホームページでも公開しています。

◆オンラインによる諸手続きのお願い

東京同窓会では経費削減の一環として、諸手続きのオンライン化を導入しております。皆様のご協力をお願いします。

①同窓会・懇親会への出欠届け、会員の方の変更届け等入力方法:東京同窓会HPのトップページの左端の「住所変更・新規登録」をクリック/タップし「入力フォーム」に記入してください。

<http://form1.fc2.com/form/?id=784024>

住所やメールアドレスの変更があったときは必ず事務局までお知らせください。そのままでは会報誌や総会案内などが届かなくなります。インターネットをお使いでない場合は回答はがきでお知らせをお願いします。

②同窓会出席者向けのアンケート

総会終了後にご回答をお願いします。今後の会の運営の参考にします。

<http://form1.fc2.com/form/?id=800917>

講演会 「印刷機械の発展と小森コーポレーションの取り組み」

講師:持田 訓さん(第39期)

株式会社小森コーポレーション代表取締役社長として、これまでの経歴や同社でのグローバルな活動における取り組みについてお話いただきます。特に、商業印刷機械、銀行券印刷機械、デジタル印刷機械等の発展と取り組みについて解説していただきます。



《講師プロフィール》

もちだ さとし 能代市生まれ。能代一中出身。山形大理学部卒業後、小森印刷機械株式会社(現・株式会社小森コーポレーション)入社。平成26年、代表取締役社長兼最高執行責任者(COO)に就任、現在に至る。

《株式会社小森コーポレーション紹介》

1923年創業、東証1部上場[1982年]、オフセット印刷機械、デジタル印刷機械、証券印刷機械、PE(プリンテッドエレクトロニクス)及び精密機械等を製造する印刷機械の総合メーカーで輸出比率は60%以上。

【懇親会費の割引・特例】以下のとおり差し引きます(昨年度より一部見直しています)

- | | | | |
|-----------------------|-----------------|---------------------|------------|
| 1) 初参加割引 | 総会・懇親会に初参加の同窓生は | 1,000円引 | ★1、2、3は重複可 |
| 2) 若者割引 | 第67期生以降の同窓生は | 1,000円引 | |
| 3) 先輩割引 | 第32期以前の同窓生は | 1,000円引 | |
| 4) 参加促進制度 | 第79期～第88期の同窓生は | 無料(年会費のみで参加できます) | |
| 5) 学生特例 | 同窓生で新卒以外の学生の方は | 1,000円で参加できます(年齢不問) | |
| 6) 東京同窓会以外の能高同窓生、友人等は | | 懇親会費のみ(東京同窓会年会費は不要) | |
| 7) 家族の参加 | 同窓生の家族は | 3,000円のお支払いで参加できます | |

★ちょっと健康が不安という方は家族の方と一緒に参加してください

★家族に同窓会の雰囲気を見せてあげたい方も遠慮なくご同伴ください

★小学生以下は無料

平成29年度総会・懇親会の出席者(同年度会費納入者)

【23期】矢口裕(二中)【24期】山縣輝輔(二中)、今村宏司(一中)【26期】板倉富彌(下岩川)【27期】大村真陸郎(浜口)【29期】宮腰瑞夫(一中)、石川正順(森岳)、大越善蔵(二中)【31期】馬場富男(二中)、高松和夫(金岡)【32期】小高功(下岩川)【34期】西川廣正(東雲)【35期】石山眞(二ツ井)、金谷満郎(浅内)【37期】今野廣隆(浅内)、袴田大蔵(二中)【38期】佐藤能雅(東雲)、菊地忠美(東雲)【39期】菅原渉(下岩川)、大塚進(二中)、諸沢隆一(一中)、金野峻明(一中)、住吉修平(一中)、山本達行(二ツ井[能代より参加])【40期】小林哲(東能代)【41期】小河範也(二中)、田中亨(響)、金子裕二(浜口)、成田忠幸(響)【43期】菊池忠夫(藤里)、高橋敦子(東能代、旧姓渡辺)、須藤正喜(八森)、福岡武(二ツ井)【44期】庄内俊憲(八森)、森岡雅信(二中)【45期】袴田邦夫(二中)、三浦洋(森岳)、真崎裕(二中)、河田昌俊(一中)、能上慎也(一中)、山谷めぐみ*(二ツ井)、石塚亙(東能代[和歌山県より参加])【46期】石井喬(二中)、吉田真由美(一中、旧姓工藤)、秋林泰樹(二ツ井)、佐藤康准(一中)、平川尚(一中)、大塚晃(一中)【47期】野村一哉(二中)、越中谷真喜(一中)、山田肇(一中)、平沢武志*(一中[能代より参加])、京久夫*(二中[能代より参加])【48期】野村松信(檜山[秋田より参加])【49期】近藤敏仁(下岩川)【50期】石井鉄美(一中)、大塚大(一中)【51期】袴田亙(二中)【53期】梶原禎子(八竜)、工藤勉(琴丘)、櫻田亨*(山本)【54期】佐藤篤規(二中)、遠藤いぶき(東能代、旧姓畠山)【55期】淡路和子(一中)、嶋田久美子(常盤、旧姓工藤)【62期】大高忠勉(峰浜)【66期】高橋弘志(二ツ井)【67期】滝田祐作(一中)、小野立(一中[能代より参加])【68期】幸坂智子(能代南)、大塚さと子(能代南)、後藤直也*(八森)【74期】塚本崇瀬*(二ツ井)【77期】山崎愛実*(東雲)【89期】平澤貴典*(山本)

●同窓生出席者数 70名 ●東京同窓会以外の同窓生 5名 ●同窓生家族 1名 ●*印は初参加者 8名

●出身中学校名は卒業当時の校名

平成29年度総会 欠席しますと回答いただいた方と会費納入の方

【15期】吉田信一#【19期】鈴木良夫#【21期】信太吉右工門#、五十嵐資和#、八杉和男#【22期】田中克芳【23期】設楽義雄#【24期】木村信逸#、蓮沼旬#、豊田誠#【25期】小野純治、畠豊彦#、那須秋男#、栗原俊一#、工藤尊久#、民谷恒二、佐々木胤鷹#、町田次男#【26期】宮腰英彌#、佐々木章、伊藤倫子、八柳昭義#、佐々木高博#、畠山信孝#【27期】檜森寛、後藤信義#、斎藤秀夫#、栗原優子#、石嶋喜直#、高砂浩、山田邦夫#【28期】須田正巳#【29期】蓼沼正紀、山崎武、下間弘道、加茂谷紀男、中田龍一#、笹木廣澄#、鈴木元紀、越前谷孝臣、宮腰興紀#、塚本祝永#、赤塚鉄男#【30期】吉田広英、熊谷幸夫#、宮腰七郎【31期】熊谷博雄#、佐藤昭夫、山本清、小田幸雄#、三浦永夫、檜森隆、長岡満夫、佐藤昭彦、菊池宏道【32期】大谷勝春、泊川教之、森田弘#、吉岡良隆、奈良信雄、笠原強、高谷誠#、田中正敏#【33期】戸松勇一、金田英成#、櫻田真人、福田健作、皆川尚一、清野勝子#、渡部洋、清水靖子#【34期】畠山昇#、斎藤彰悟#、長岡忠光#、棚橋東峰【35期】金子永喜#、平川徳道#、大瀨康彦、工藤政良、恩田恒美、加賀亮司、横田真理子#、唐沢好文、干場革治#【36期】深井学#、青木立子、浅野友城、工藤正樹、山本修#、細田静夫、嶋田星子#、栗原律子【37期】小野津世子#、橋本悟、若狭秀巳#、坂田静子#、新堀益夫#、加賀咲男#、吉田幸雄、小杉山久晴【38期】畑沢鉄三、赤塚剛、戸松伸一#、酒田正克#、成田正廣#、荒川久敏#、豊嶋誠、福田満男#、田口宜明、大塚健三、伊藤陽一、佐藤春香#、袴田忠夫#、新堀勝男#、松谷康雄#【39期】茂呂忠良、下坂節男、直嶋博明#、田村敏雄#、田村猛#、持田訓#、袴田修平【40期】北川雅夫#、智田農、渡部孝男、平澤知明、高橋博美#、敦賀照光、武田清悦【41期】佐藤治#、加賀久毅、瀬川公平【42期】山柄一庫、佐藤行信#、島村努、工藤俊一#、鶴木賢剛【43期】五代儀彦秀#、工藤富雄、幸坂和彦#、大屋有司、高松芳則、石塚信一#【44期】山崎友久、佐藤伸、吉田弘房、渡辺隆幸#、三国昇一#【45期】加藤成#、鎌田泰宏、加藤純雄、大塚雄蔵#、平野信任、港基樹、高松武史【46期】斉藤靖雄#【47期】和平忠幸#、佐野輝彦、五十嵐和雄#、平川均、市川勝、腰山達哉、小林典雄#、鶴巻美弥子#【48期】北林蒔子#、安濃純、佐藤美香子、小嶋覚#、淡路正則、藤田幹也【49期】金井晴美、田村智昭、大塚聡子#、薄井司、片谷浩之、今野泰則、松永京子【50期】佐藤孝也#、名賀なみき【51期】川口行彦、河田康史#、武田正晴【52期】井潟正彦#【53期】吉田順#【54期】住吉昭弘、佐藤周之#、小山内恵樹、小原恵、佐藤弘孝、三浦佳奈子【55期】浅野敦志#、伊藤広一、遠藤真奈美、大山顕#【56期】高島雪絵、部村由美子、大野留理子【59期】中村王子【60期】柴田真人【62期】能登祐克【65期】石山陽一【66期】畠山幸、清水洋志、安井士郎【67期】柳谷真澄【78期】今西拓磨

●#印は会費納入の方 ●年会費世帯制の適用者2組は2名の名前を掲載しました。

※このページは敬称を略しました。★欠席でも回答をいただけると助かります。今年はぜひ参加してください。

平成29年度 総会・懇親会の報告

2017年の東京同窓会・総会は10月7日(土)12時20分より、アルカディア市ヶ谷にて開催されました。本校から京久夫校長先生(第47期)、元校長でもある能代高校同窓会・山本達行副会長(第39期)、来賓の方々を迎えて約90名が出席しました。総会は高橋弘志さん(第66期)が司会、庄内俊憲さん(第44期)が議長をつとめ、続いてリュート奏者である櫻田亨さんの講演・演奏会。懇親会は佐藤篤規さん(第54期)と幸坂智子さん(第68期)の司会で進行し、盛会のうちに終了しました。

「リュートと私」

講演と演奏：櫻田 亨さん(第53期)



今日はリュートという非常に珍しい楽器を持ってきました。400年ぐらい前にヨーロッパでたいへん人気があった楽器で、日本の琵琶のような形をしています。実は、いまではヨーロッパでも珍しい楽器なんです。三種町(山本町)の北金岡出身の私が、なんでこの楽器を弾いているのか、お話ししながら、演奏をしていきたいと思います。

まずは1曲お聞きください。シェイクスピアの劇の中で実際に使われていた「グリーンスリーブス」です。これは皆さんも耳にしたことがあるのではないのでしょうか。

♪グリーンスリーブス

こんなふうに、静かな音楽を奏でる楽器です。

先ほど能代高校ではギター部と紹介されましたが、実は新聞部です。ギター部をのぞきにいったら、当時は活動していなくて、向かい側にあった新聞部に勧誘されるまま入ったのでした。

それまでほとんど音楽とは縁がなかったのですが、高校3年生の夏に、急にギターをやりたくなって、秋田市のギター教室に通い始めました。伊豆にあるギター学校に入ると勝手に決めて、ほかのみんなが受験勉強に励んでいるときに、秋田までの定期を買って毎日のように教室に入り浸っ

ていました。私のほかはほとんどが大人の生徒さんで、かわいがってもらいました。

能代高校を卒業後、伊豆のギター学校に入りました。標高500メートルほどの山の中で、全寮制とうたっていましたが大部屋での合宿。ここで4年間、朝から深夜までギターに明け暮れました。アンサンブルの練習が主で、有意義な寮生活でした。卒業して、そのままその先生になり、さらに2年間合宿生活を続けました。テレビも見ない、世の中のことも知らない、仙人のような6年間でした。

そんなある日、世界的なリュート奏者、佐藤豊彦先生のコンサートを静岡に聞きに行ったのですが、たいへん素晴らしくて、終了後すぐに楽屋を訪ねました。自分もリュートをぜひやりたいと話す、「それならオランダに来てください」と言われました。

オランダに住む佐藤先生と何度も手紙でやりとりをし、ギターのテクニックではありましたがリュートを演奏した30分くらいのテープを送ったところ合格となり、オランダの学校に入学することになりました。オランダでは国民の9割くらいは英語を話し、授業も全部英語でした。佐藤先生のレッスンは日本語なのでよかったのですが、能代高校で勉強したはずの英語は役に立たず、たいへんでした。

初めは1年間のつもりが、25歳から7年間オランダで学生生活を続けました。ギター学校の先生をしていたときは違って、オランダでは休みの日は全部自分の時間で、練習ができました。オランダでは日本語補習授業校の先生のアルバイトをしました。日本大使館が日本人などの子供向けに、土曜日の午後だけ開いている学校です。日本の教科書で中学生くらいまでの国語と算数を教える仕事で、このときばかりは能代高校で勉強し

会員だより

同窓会の出会いに感謝 ～総会に参加して

第45期 山谷 めぐみ

私がこの能代高校東京同窓会の存在を知ったのは5、6年前、能代市内で開催された高校同期会で、現会長の三浦君の一言でした。千葉市在住でその上友達の少ない私は、都内でそんな会があるのかとずっと気にはなっておりました。それが具体化したのはスマホのフェイスブックです。元タジョン・レノンと桑田佳祐の大ファンで天才と称する私は、同期の加藤君とのコンタクトに成功。後に、55期の淡路さんともお会いでき、昨年の初参加が実現した次第です(ざっと)。

そう、肝心の初参加の感想ですね。と、その前に私の経歴を少し。大学で結婚出産(逆?)、専業主婦に。その後、話題の日大に編入し英語の教員免許も取得。中学講師をしていた頃、夫の病死。弱冠34歳からの本格的就職活動。リストラも経験し今の会社に至る(きれいに言えば)。こんな落ちこぼれ人生の私には、同窓生皆様の華々しい御活躍は目にまぶしく気後れするばかりです。それでも、持前のずうずうしさで(本来は内気!!)今年の4月に能球会に参加。楽しく、また悔しさも残る一日に(ひそかに次回リベンジを胸に)。また、去年の総会では、櫻田亨さんの演奏でリュートの存在を初めて知り、高校時代にギター部だったこともあって、一気に親しみを感じたり。小劇



2017年は8人が総会に初参加。懇親会でお一人ずつ自己紹介していただきました。

場好きの私は、77期の山崎愛実さん(劇団熱血天使に所属)の作品にも触れ合えたり。まあ、申し上げたいのは同窓会に参加して良かったということです。

若いころは漠然と還暦になったら人生一段落し穏やかな日々になると思いきや、何と61歳の今も社会の中で闘っております。そんな中、同窓会の先輩や後輩の皆様とお会いでき、心から感謝しております。人間は社会的動物であり人間関係なくして人生あり得ないと改めて感じつつ、ペンを置きたいと思います。

東京同窓会有志とお友だちで 富士山に登った!

第47期 越中谷 真喜

1977年(昭和52年)に能代高校を卒業して、横浜に移り住むこと40年。関東の何処からでも見ることができる富士山です。毎年7月になるとテレビでは富士山の山開きが報道され、いつの間にか世界遺産に登録され、平成29年の富士登山者数は28万5000人、なんと7月15日の登山者数は7000人強でした(その一部が私たち)。

上京してから富士山を見るにつけ、いつかは登ってみたいと思いつつ、近所の観光地のように何時でも行けると安心していたら40年です。還暦過ぎてからじゃ、体力的に無理になるんじゃないかと、話題になったのが一昨年、平成28年度東京同窓会総会二次会の場での話。折しも同じような想いをしている同志が大勢いるじゃないですか。48期の北林蒔子さんが仕事関係から、小山町の方々から富士登山のお奨めを受けているということで、話はとんとん拍子に進んで、ここに小山町役場全面協力による「能代高校東京同窓会とお友だちで富士山に登ろう秘密結社(平成29年7月14日決行)」の発足です(フェイスブック上では大々的に情報交換していましたが)。

その日から、登山用品の備蓄とYouTubeでのイメージトレーニング、有志による毎月の近隣低山での事前トレーニングが始まり、ずっと憧れていた大山(丹沢)詣りや高尾山へも行けました。合言葉は「富士山、なめんなよ〜!」です。

登山本番当日はシーズン最高の好天に恵まれ、



出発前に道の駅「すばしり(須走)」で集合写真を撮影。生き生きとした表情!

準備した雨具が無駄になりつつも、須走口五合目を20時30分に13名(東京同窓会有志9名+お友だち1名+小山町支援隊3名)で出発。当初のまったく登山予想とは違って、いわゆる弾丸登山っぽくなりましたが、翌4時30分に八合五勺でご来光、同6時30分頃に、這うように山頂到着(私は皆から20分遅れ)。7時30分から下山開始で、14時過ぎに出発地の須走口五合目に各自バラバラに到着しました。

還暦直前での富士登山での教訓は「登りはきつくて、下りはつらい」に尽きました。皆さんも挑戦してみてくださいはどうか?

「母校」が生む心のつながり

第68期 後藤 直也

こんにちは。私は昨年(2017年)の10月に初めて総会・懇親会に参加をさせて頂きました。以前から東京同窓会の事は存じていたのですが、参加するきっかけがないまま19年が経ち、この度ようやく先輩からのお誘いに乗って参加するに至りました。とても楽しい時間を過ごさせて頂いた昨年の総会・懇親会について、若干の感想を述べさせて頂ければ幸いです。

参加してまず驚いた事は、世の中で活躍されている能代高校出身の方々がとても多くいらっしゃるという事でした。普段の生活では出会う事がないような方が大勢参加されていて、松陵健児の幅の広さと、才能溢れる姿に触れ、私もその一員であることを非常に嬉しく感じた記憶があります。中でもシンガーとして全国で活躍されている塚本崇瀬さんのソウルフルな歌声には、能代高校の底

知れぬ力を感じさせられました。また、私は当時37歳で参加者の中では若い方でしたが、諸先輩方がとても気さくに迎え入れて下さいました。時間を忘れ話し込んでしまうような事もあり、先輩方のやさしさと器量の大きさを実感し、東京でありながらもこのような出会いに、心強さを感じた覚えがあります。懇親会では有志によるゴスペル・ショーがあり、世代を超えて楽しく交流しつつも、一つの事に打ち込む仲間が集える場として、素晴らしい会であると感じる場面もありました。

現在の日本には約5000の高校があるそうですが、「母校」を同じくする人同士の心の繋がりは、相当なものがあるように感じています。うまく説明はできませんが、自分の礎となった高校への帰属意識の他に、能代高校ではきつと能高祭や十里強歩など武勇伝が生まれやすい行事も一因としてあるのでしょうか。青春時代を同じ能代高校で過ごした共通体験は、立場や世代を超えて、人と人の心をつなげる事を実感しています。

そして最後には校歌を斉唱し、懇親会の幕を閉じました。在校時代はまともに歌った事がない校歌でしたが、今になるとなんと感慨深く、しかも結構歌えることに驚きました。高校時代の体験が知らず知らずのうちに身に付いている事を、校歌一つを通して感じています。

この度の総会・懇親会への参加では、とても有意義な時間を過ごさせて頂き、誘って頂いた先輩に感謝しております。そしていつになっても能代高校同窓生である事には変わりはなく、先輩後輩の垣根を超えて交流ができる喜びを知りました。今後も年に1度、本会に参加し、松陵健児である皆さんと交流を深めていきたいと思っております。



昨年の懇親会では、大高忠勉さん(第62期)が応援団長役となって校歌斉唱。

樽子山会の集い ～九段坂周辺巡り

第31期 馬場 富男

「樽子山会」の七福神巡りも前回までに6回と
なっています。

七福神の寿老人(俎板橋児童公園)を確認し、
しょうけい館(戦傷病者史料館)と昭和館(伝え
たい、戦中・戦後の暮らし)を見学することに
して、3月14日(水)に開催いたしました。

千代田区の七福神はアート七福神と云われ、主
にビルの入口のモニュメント的な要素が多くなっ
ているようです。

①えびす様、タイトルは「少彦名命」②大黒天
様③毘沙門天様④弁財天様、タイトルは「妙音」
⑤布袋様、タイトルは「慧」⑥寿老人、タイト
ルは「寿人遊星」⑦吉祥天様、タイトルは「恵
光の像」という具合になっています。

しょうけい館は、戦病者とその家族の体験記を
元に展示されており、当日は戦病者を支えた義
眼・義手・義足が主な展示となっていました。彼
らの戦闘や訓練での負傷や病気によって身体
の一部を失い、その代わりに補装具を付けて
生活することになり、戦後、身体障害者とい
う立場で多くの労苦を体験しましたが、自ら
の努力と妻や周りの人たちの支えによって
乗り越えてきたそれらの物語が展示されて
いて、感銘というか声にできない衝



左から塚本祝永、樽子山会会長・熊谷幸夫、畠山信孝、矢口裕、
馬場富男(敬称略)。

撃が語られていました。

また、昭和館は「伝えたい、戦中・戦後のくら
し」と題され、昭和10年頃から30年頃の国民
生活上の労苦を伝える資料の収集・保全・展示を
行っていて、それらを見学してきました。

そして九段と言え、やはり靖国神社となり全
員で参拝いたしました。

第20回東京探訪の会(拡大版) 鎌倉・江ノ島巡礼

第46期 秋林 泰樹

昨年12月2日(土)、東京探訪の会の記念す
べき第20回として、近年、テレビ・映画・漫画
等に露出の多い「鎌倉・江ノ島」の巡礼を企画し
ました。探訪したのは、歴史的な名勝地はもちろ
ん、テレビドラマ「最後から二番目の恋」「ツバ
キ文具店」、映画「稲村ジェーン」「海街diary」
などのロケ地等も回りました。

参加者は19名、午前11時、JR鎌倉駅に集合。

江ノ電に乗って、七里ヶ浜駅で下車、しらす料
理の有名店「池田屋」で腹ごしらえをして(ビー
ルでガソリン注入した人も数人、ご飯をおかわり
した女性の参加者もいました)、さあ出発。

稲村岬公園から、国道134号線と七里ヶ浜沿
いに、江ノ電と太平洋を横目に見ながら江ノ島方
面へ。途中、アニメ「スラムダンク」のモデル、
県立鎌倉高校(アニメでは湘北高校)前の踏切で、
記念撮影している多くのスラムダンク・フリーク
の人達に、「インターハイで湘北を苦しめた山王
工業高校のモデルは能代工業だぞ!!」と意中で叫
びながら、満福寺へ。ここは、源義経が旧鎌倉に
入れずに留め置かれ、弁慶が源頼朝への詫言状
である「腰越状」を書いたところ。江ノ電が走る腰
越電車通り経由、龍口寺へ。ここは、日蓮宗の開
祖日蓮が処刑されそうになったところ。日蓮宗
ではこの事件を「龍ノ口法難」といいます。

そして、いよいよ2020年東京オリンピックの
セーリング競技の会場でもある江ノ島へ。弁天橋
を渡り、弁財天仲見世通り、エスカー(有料エス
カレーター)を使い、江ノ島神社へ東京同窓会盛
会祈念でお参りしました。次ページの写真は、頂
上のシーキャンドル(灯台)を背景にした記念撮



江ノ島頂上部で記念撮影。中には254段の階段を昇った健脚の人も。

ている人数が少ないのは、参道の磯料理屋さんで
ご飲食しながらお参りの人達を待っていただいた
方たちがいたため(良く飲むねー)。

最後は、バスに乗り江ノ島を出て、藤沢駅で解
散。参加者の大多数が、藤沢本町の居酒屋におけ
る反省会にて、東京同窓会拡大計画等々を議論し
ました。

「鎌倉・江ノ島は、首都圏ですぐそばなので、
いつでも行けるから」という気持ちがあるためか、
一度も行ったことがないか、10年以上前に行っ
ただけという参加者が多かったようです。最近
は、これでもかというほど鎌倉・江ノ島がテレビ等
に取り上げられるので、「こないだ行ってきたよ」
と少し鼻高になってもらえるかな?と思っていま
す。

東京同窓会の同好会

東京同窓会には、同窓生の親睦のために以下の同
好会があります。これらの会に連絡を取りたい人、
新たな同好会の提案や希望がある人はご連絡く
ださい。事務局メールアドレス:noko_alumni_
tokyo@freeml.com

◇棋聖会

活動内容: 囲碁・将棋の同好会です。年に3~4
回程度、土日・午後の開催を予定しています。

代表者: 石川正順(第29期)

◇能高五日会

活動内容: 2006年1月5日に設立した同窓生の
青年部で、若手同窓生(第45期より下)の親睦
と交流を目的にした懇親会。今年後半は9月7
日(金)、12月7日(金)、2019年は3月9日(土)
の開催が決まっています。

代表者: 清水洋志(第66期)

◇樽子山会

活動内容: 樽子山を卒業した世代が各期を越えて
参集し懇談します。元気な70歳代の楽しい寄集
まり会にしたいと思います。

代表者: 熊谷幸夫(第30期)

◇能球会

活動内容: 年2~3回、東京近郊のコースでゴル
フを楽しみます。今年4月には南市原ゴルフクラ
ブでオープンコンペを実施しました。

代表者: 石井鉄美(第50期)

◇能高釣クラブ

活動内容: 自然を満喫しながら溪流釣を楽しみ、
昼はバーベキュー、夕方は温泉で疲れを癒します。

代表者: 小河範也(第41期)

◇東京探訪の会

活動内容: 年2回(予定)、日常あまり触れること
のない「東京」を訪ね、約2時間のコースを散策
します。東京同窓会ブログに報告を掲載。今年5
月には神楽坂から漱石ゆかりの地を訪ねました。

代表者: 吉田真由美(第46期)

◇能高バスケの会

活動内容: 能代カップやウインターカップ、Bリ
ーグ観戦、本校バスケットボール部やOB会との
交流などによる情報交換をしています。東京同窓
会ホームページに報告を掲載。

代表者: 片谷浩之(第49期)

湯島で同窓生に会える店

ふぐ・季節料理

上野 きくち

通算43期(新制25期) **菊池 忠夫** 白神山(藤里町)出身

千代田線**湯島駅6番**出口
徒歩1分
(大手町から北千住へ向かって最後方出口)
東京都台東区上野1-12-2
亀田ビル 1F ☎110-0005

ご予約をおすすめします

03-3839-3382

平成30年度(2018年)収支決算報告書(平成29年8月1日~平成30年7月31日)

収入の部			支出の部		
項目	予算	決算	項目	予算	決算
總會収入	786,000	542,000	總會費	1,106,000	755,428
会費収入	400,000	324,000	組織拡張費	10,100	0
雑収入	125,150	89,006	一般管理費	195,050	57,093
当期収入合計	1,311,150	955,006	当期支出合計	1,311,150	812,521
			当期収支	0	142,485
			前年度繰越金	1,064,366	1,064,366
			翌年度繰越金	1,064,366	1,206,851

■同年度の収入には4名の同窓生からの寄付金が含まれています。ありがとうございました。

【23期】矢口裕 【24期】山縣輝輔 【39期】今野峻明 【45期】加藤成

★紙面の都合で簡易版を掲載しました。総会資料、東京同窓会ホームページでは詳細をご覧ください。

年会費納入のお願い

会報の印刷代、送料、総会開催に係る費用などは、皆さまからの年会費でまかなわれています。納入にご協力のほどよろしくお願ひいたします。

▼年会費は2,000円です。

▼郵便払込と銀行振込も利用できます。

それぞれの口座番号はこのページの右下にあります。

会報はホームページでも公開中

東京同窓会の会報は第1号からすべてホームページでもPDFで公開しています。お手もとにない号は、東京同窓会のトップページから「会報」の項を選んでご参照ください。第15号以前は誌面からのPDF化のため少し読みにくくなっていますが、何卒ご了承ください。

<http://shoryokenji.web.fc2.com/>

能代郷土料理・居酒屋

酒楽こてらんこ

藤岡洋子(能代北高卒)

〒110-0015
東京都台東区東上野1-19-2 第二鈴木ビル1F
☎ 03-6803-0239

・JR御徒町駅 北口より歩いて5分
・日比谷線 仲御徒町駅3番出口より歩いて3分

◆定休日 土日祝(土曜日は予約のみ営業)

NASA・JAXAと協働し
宇宙分野研究の最前線に

日本の私立大学として初めてNASAと共同研究を行うなど、世界トップレベルの研究を実施。国際宇宙ステーションでの流星観測や超小型衛星開発など、幾多のプロジェクトが進行しています。

国際宇宙ステーションからメテオカメラが撮影した関東の夜景

千葉工業大学
CHIBA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

Tel.047-478-0222 (入試広報課) 〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1

秋田公立美術大学
AKITA UNIVERSITY OF ART

美術を超えて、
社会に繋がる。

秋田公立美術大学は、キャリアに繋がる基礎として、技術、歴史、伝統を重視します。そして、新しい美大として、新しい美術・デザインによる社会への還元をの姿を探っています。

その過程で学生は旧来の美術教育にはない多くのことを学びその活躍の場を見出していきます。

〒010-1632 秋田市新屋大川町12-3
Tel: 018-888-8105 www.akibi.ac.jp

松陵健児

能代高校東京同窓会 会報 第28号

発行日 平成30年9月1日

発行 能代高校東京同窓会

発行責任者 三浦 洋

編集 会報誌グループ

印刷 株式会社 毎栄

■能代高校東京同窓会事務局
〒270-2212
千葉県松戸市五香南 1-16-11 三浦洋方
E-mail: noko_alumni_tokyo@freeml.com
Website: <http://shoryokenji.web.fc2.com>

■年会費振込先
●郵便払込口座番号 00150-7-27459
加入者名 能代高校東京同窓会
●ゆうちょ銀行 018(ゼロイチハチ)支店
普通預金 5914261
名義 能代高校東京同窓会